欅

～けやき～

成田市立中台中学校　学校だより
文責：内田　淳
令和６年　６月２１日（金）Vol.１２

学校教育目標　『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も自分も大切に」「感動・感謝を大切に」
「団結・協力を大切に」「命を大切に」

【ホームページへ】

誠実に、真剣に、ひたむきに

昨日・今日と、定期テストが行われました。あちこちから不安げな声が聞こえてきましたが、その不安をかき消そうと、学習に前向きに取り組む姿もまた、あちこちで見られました。また、１７日(月)、１９日(水)に実施された学習支援も、各学年で盛況でした。

【１年国語。文節か単語か？「勉強する」と「勉強をする」の違いとは！？】

【３年国語。助動詞の見分け方は、コツを覚えてしまえば、解きやすいですね】

【２年社会。日本の歴史から産業まで、分からないことを次々に質問しています】

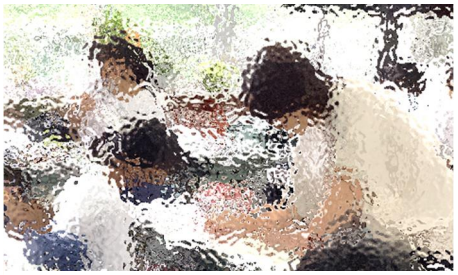
【１年社会。地理の基礎をしっかり覚えよう……時差はどうやって計算する？】

【２年数学。マンツーマンでじっくり教えてもらえるのは、学習支援ならでは】

【３年数学。難しい単元だからこそ、ここで頑張って、乗り越えたいところ】

【３年理科。先生がホワイトボードを駆使して丁寧に解説しています】

【１年理科。は虫類？両生類？授業で盛り上がった話題は、覚えているものですね】



【１年英語。ここでしっかり覚えておけば、これから先もきっとうまくいくはず】

【２年英語。じっと話を聞いています。テストに向けて、つかめたでしょうか？】

今回のテストに向けて、誰もがあきらめずに突き進んできました。では、結果が出たら、さあ、どうしましょうか？

「あきらめたらそこで試合終了」と言う言葉を、よく耳にします。

ほんとうに「あきらめたら終了」なのは、結果が出てからではないか、と私は考えます。今回のテストで、思うような結果が出なかったときこそ、あきらめず、未来に希望を持って、少しずつでも、積み重ねていくことが大切なのです。

誰にだって、「あんなに頑張ったのに、うまくいかなかった」と感じることは、あるかもしれません。その結果を受け止めて、「ノートや提出物に、丁寧に取り組んだか」「分からない問題をそのままにしていなかったか」「計画に無理なところはなかったか」など、自分の取組を振り返り、それを次に生かすことが、「あきらめない」ということなのではないでしょうか。

この１回の結果だけであきらめてしまったら、もったいない話です。振り返った人には、挽回のチャンスが、きっと巡ってきます。このテストが、一人ひとりの糧（かて）になることを願っています。

清く・正しく・ＩＣＴ

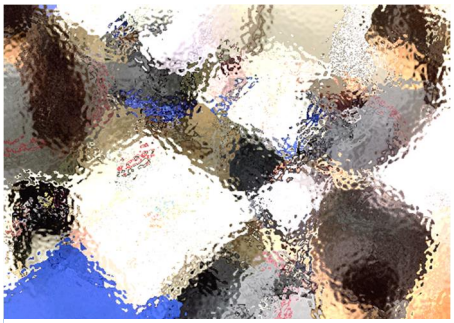
令和３年度から成田市内で一斉に、「１人に１台」としてタブレットが配付され、学習を中心に、学校生活で広く使われるようになりました。全国学力・学習調査などでは、タブレット上で回答するものもありました。教科や単元の内容にもよりますが、タブレットの特性を生かして、今は、例えば次のような使い方をしています。

【手軽な大きさで頑丈なケースもついているので、屋外の観察に役立ちます。撮った写真もすぐ加工できます】

【先生が予め作成した図表などをタブレット経由で大画面に映せば、黒板２つ分のデータや資料が提示できます】

【小テストは、先生が各自のタブレットに問題用紙を送信。生徒は指やタッチペンで書き込んで、先生に送り返します】

【有志合唱団の練習風景。男声パートをタブレットで再生してヘッドフォンで音取りをしています】



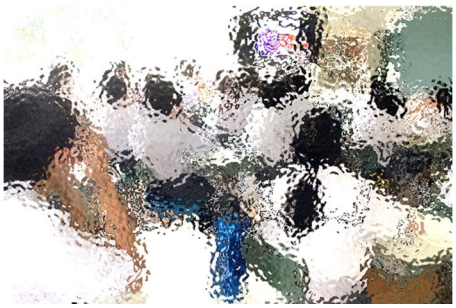
【教科書のＱＲコードを読み取ると、数学の解き方のヒントや、国語の文章の作者の解説などを見ることができます】

【欠席した友達が、リモートで授業を受けるとのこと。生徒がタブレットを設置して、互いに接続を確認します】

学校においては「学習用具の１つ」として、活用しているタブレット。様々なアプリやウェブサービスを活用して、学習や学校生活は、ますます便利に、有意義なものになっていくでしょう。

一方で、便利なものは、使い方次第で危険なものにもなることがあります。ＩＣＴを不正に利用した犯罪やトラブルは、後を絶ちません。そこで、生徒自身が自分の身を守り、そして家庭や学校でも、生徒を守ることができるように、１３日(木)、「情報モラル教室」が開催されました。

メッセージをやりとりする中での、些細な誤解からトラブルが生じた例や、ネット上の自己紹介を鵜呑みにして、素性も分からない人に会い、トラブルに巻き込まれた例などが紹介されました。被害者になるのはもちろん、加害者になる可能性も否定できません。それぞれの事例の、どこに落とし穴があったのか、生徒は真剣に考えていました。



【講話は生配信され、生徒は各教室でスライドを見たり話を聞いたりしました】

講話の中では、「自分事として捉えよう」という呼びかけがあり、**「Ｓｔｏｐ(止まる)、Ｔｈｉｎｋ(考える)、Ｃｏｎｎｅｃｔ(つながる)」**という標語が示されました。

書き込みや送信をする前に立ち止まって、「内容は適切か、安全か、意図や気持ちが正しく伝わるか」などを考えて（「少なくとも５秒は考えよう」と、講師の方のお話）、そして正しく楽しくネットにつながりましょう……ということです。

生徒の健全な育成には、学校と家庭の連携と、そして、生徒自身の想像力や自分をコントロールする力が必要です。

夏休みまで、あと一ヶ月。ネット等の利用について、家庭でのルールを確認するとともに、生徒が自ら「このようなルールでネットを使います」などと保護者に宣言する機会を設けると、自立への一歩につながると考えます。

自動販売機が設置されました！

１４日(金)、市教育委員会の事業で、本校に自動販売機が設置されました。場所は、２年生の昇降口と、体育館の玄関の２カ所です。稼働は、２４日(月)から。生徒会の定めた約束に沿って、適切に運用します。